



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 山崎 裕康

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,132	△1.1	1,694	5.3	1,747	8.8	870	5.1
24年3月期第1四半期	22,373	9.1	1,609	9.9	1,605	6.9	828	18.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 955百万円 (5.8%) 24年3月期第1四半期 903百万円 (22.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	104.27	—
24年3月期第1四半期	99.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
25年3月期第1四半期	85,392		29,129		29.5	
24年3月期	85,164		28,382		28.7	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 25,175百万円 24年3月期 24,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	0.3	3,300	3.8	3,250	1.8	1,800	9.6	215.49
通期	91,000	1.2	6,900	5.7	6,900	5.3	3,500	2.2	419.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	8,356,000 株	24年3月期	8,356,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	2,812 株	24年3月期	2,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	8,353,188 株	24年3月期1Q	8,353,401 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前第1四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要やエコカー補助金などにより緩やかな回復基調にあったものの、欧州債務危機や円高の長期化により国内経済への先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましても、一部で個人消費の持ち直しが見られたものの、消費の停滞感や不安定な原油価格など、引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益221億32百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益16億94百万円（同5.3%増）、経常利益17億47百万円（同8.8%増）、四半期純利益8億70百万円（同5.1%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、105億87百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は、13億85百万円（同2.1%減）となりました。

営業収益におきましては、平成24年4月に取得した連結子会社（株）ジェイビーエスと前連結会計年度に受託したセンターが順次業績に寄与したものの、不採算荷主との契約解除及び業務内容等の一部変更により前年に比べ減少しております。また、営業利益におきましては、新センター立上げ等による先行コストの発生により前年に比べ減少しております。

新規受託の概況につきましては、6社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した2社を含めた8社のうち4社稼働しております。残りの4社につきましては、平成24年7月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存荷主の減少により70センターとなりました。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、(株)ジェイティービー物流サービス（平成24年4月に(株)ジェイビーエスに商号変更）の株式を取得し、連結子会社としております。

(貨物自動車運送事業)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、115億45百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は、3億6百万円（同58.6%増）となりました。

営業収益におきましては、主に家電関連の物量減少により、前年に比べ減少しております。また、営業利益におきましては、主に近物レックス(株)における日々管理の充実により前年に比べ増加しております。

近物レックス(株)における取組みにおきましては、平成24年6月より、積載率の低い曜日の幹線便の見直しを実施し、外注費を月額約16百万円抑制しております。また、毎週開催の定例会において、労務費及び外注費等の抑制を中心に日々の管理強化をしております。こうした取組みにより、同社の営業利益は、前年に比べ、1億12百万円増加しております。

今後の近物レックス(株)の取組みといたしましては、継続して日々管理の強化を実施していくとともに、既存顧客への営業強化と、有料道路の使用区間及び外注費単価の見直しによる経費圧縮を実施してまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(当第1四半期の状況)

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億28百万円増加し853億92百万円となりました。これは主に、新たに連結子会社の増加等により、流動資産が11百万円、固定資産が2億17百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比5億18百万円減少し、562億63百万円となりました。これは主に、連結子会社が増加いたしました。借入金4億25百万円、未払法人税等7億77百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比7億46百万円増加し、291億29百万円となりました。これは主に、四半期純利益8億70百万円の計上と剰余金の配当による減少1億58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.7%から29.5%へと増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、日本経済における復興需要等による緩やかな景気回復はあるものの、欧米諸国の財政不安や景気の低迷により長期化する円高の影響により、依然として先行きは不透明な状況であります。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター(3PL)事業を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また、既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当社において重要なキーワードであります、「日々収支」「全員参加」「コミュニケーション」の既存路線を踏襲した上で高みを目指し、変革と挑戦を続けてまいります。

平成25年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益910億円(前年同期比1.2%)、連結営業利益69億円(同5.7%増)、連結経常利益は69億円(同5.3%増)、連結当期純利益は35億円(同2.2%増)を見込んでおります。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間約34百万円の影響となります。また借入金の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間20百万円の影響となります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動におきましては、該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税の改正に伴い、当第1四半期連結累計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、従来の方法に比べての当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,442	4,468
受取手形及び売掛金	12,072	11,924
商品	3	3
貯蔵品	132	126
その他	1,201	1,339
貸倒引当金	△36	△35
流動資産合計	17,816	17,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,700	23,450
土地	34,113	34,135
その他(純額)	3,997	4,211
有形固定資産合計	61,810	61,797
無形固定資産	1,981	2,096
投資その他の資産	3,555	3,670
固定資産合計	67,347	67,565
資産合計	85,164	85,392
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,161	6,076
短期借入金	24,708	25,159
未払法人税等	1,515	738
賞与引当金	546	534
役員賞与引当金	46	14
その他	4,590	5,227
流動負債合計	37,570	37,752
固定負債		
長期借入金	9,658	8,782
退職給付引当金	4,915	4,955
役員退職慰労引当金	348	373
その他	4,288	4,400
固定負債合計	19,211	18,511
負債合計	56,782	56,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	16,498	17,210
自己株式	△8	△8
株主資本合計	24,486	25,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12	△23
その他の包括利益累計額合計	△12	△23
少数株主持分	3,908	3,953
純資産合計	28,382	29,129
負債純資産合計	85,164	85,392

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	22,373	22,132
営業原価	20,213	19,874
営業総利益	2,160	2,258
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	—	1
役員報酬	116	109
給料及び手当	139	134
賞与引当金繰入額	20	20
役員賞与引当金繰入額	12	12
退職給付費用	7	7
役員退職慰労引当金繰入額	9	16
その他	245	261
販売費及び一般管理費合計	551	564
営業利益	1,609	1,694
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	20
負ののれん償却額	50	50
助成金収入	14	34
雑収入	61	54
営業外収益合計	147	159
営業外費用		
支払利息	109	95
雑損失	41	11
営業外費用合計	150	107
経常利益	1,605	1,747
特別損失		
投資有価証券評価損	6	10
災害による損失	4	—
特別損失合計	10	10
税金等調整前四半期純利益	1,594	1,736
法人税、住民税及び事業税	646	734
法人税等調整額	39	30
法人税等合計	685	765
少数株主損益調整前四半期純利益	909	971
少数株主利益	80	100
四半期純利益	828	870
少数株主利益	80	100
少数株主損益調整前四半期純利益	909	971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△16
その他の包括利益合計	△5	△16
四半期包括利益	903	955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	823	859
少数株主に係る四半期包括利益	79	95

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	10,613	11,760	22,373	—	22,373
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	118	425	544	△544	—
計	10,731	12,186	22,918	△544	22,373
セグメント利益	1,415	193	1,608	0	1,609

(注) 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	10,587	11,545	22,132	—	22,132
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	127	340	468	△468	—
計	10,715	11,885	22,601	△468	22,132
セグメント利益	1,385	306	1,692	2	1,694

(注) 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。